



「あうんの呼吸」 ～ある日の合同学習から～

新年度が始まり、生徒達は高揚感に包まれた雰囲気の中の4月でしたが、一方で環境の変化に対する戸惑いを隠せない様子も見られました。

特に高等部のAさんは、不安定な気持ちの状態の日が幾日かありました。要因として、学校（分教室）や病棟職員の入れ替わり、学習場所の変更など、昨年度とは異なる環境の変化への戸惑いがあったように思います。

ある日の合同音楽の時間のことです。この日も、朝から不安気な様子の方Aさん。活動になかなかのれません。担任は、無理に合同の学習への参加は促さず、個別に気持ちの安定を図る活動を行うことにしていました。

その中で、院内を散策しながら、合同の学習を行っている様子を離れた場所から参観できるようにしました。担任は「音楽やってるね。みんな歌ってるね」と、さりげなく状況を説明します。少しすると、Aさんが手拍子をしながら歌い始めました。そしてゆっくりと集団の場に近づき、みんなと一緒に活動を行いました。

合同の学習を進めているB先生は、途中から参加したAさんのことを確認しつつも、意図的に触れることなく、授業を進めました。そして、授業の終わりに「挨拶をしてくれる人はいませんか!？」と問いました。するとAさんが元気に『はい!』と手を挙げ、満足気な様子で終わりの挨拶をしてくれました。

「個に応じた支援をチームで」という言葉を思い出しました。そしてAさんの気持ちの状態を踏まえながら、あうんの呼吸で行われたチームティーチングに、温かい気持ちが湧いた、ある日の場面でした。



【合同学習の様子】